



学校テーマ 『喝采が響きあい、地域に愛される法勝寺中学校』

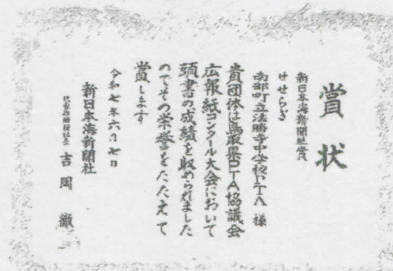
法勝寺中学校だより

No.3 R7.6.18 発行(文責：角田)

祝 新日本海新聞社賞 受賞

この度、令和6年度の法勝寺中学校 PTA 広報誌『せせらぎ』が鳥取県 PTA 広報誌コンクールにおいて、新日本海新聞社賞を受賞されました。

6月7日(土)に倉吉体育文化会館にて表彰式が行われ、昨年度広報部長の田邊さんが代表として表彰状を受け取られました。作成に携わっていただきました、広報部員の皆様誠におめでとうございます。



ご協力 ありがとうございます

昨年度も多くの方に学校敷地内の美化に御協力頂き、学校内外がきれいな状態で教育活動を行うことができました。この紙面を借りて御礼申し上げます。

今年度も野球場や玄関前の築山庭園の除草作業や調理室の清掃をしていただきました。昨年の夏に一旦きれいにしていただいた野球場もまた草が伸びておりましたが、きれいに整備していただきました。また、前庭もスギナが至る所に生えて景観が損なわれていました。スギナは引っ張ると途中で切れてしまい、除草するのが難しいのですが、写真のようにきれいにしていただきました。また、CS の皆さんに集まっていただき、普段なかなか掃除の出来ない教室を綺麗にしていただきました。

こうした、なかなか学校の職員では手が回らないところを始めとした CS 活動に感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。



つばめの巣それともすずめの巣

今年もインドネシアやフィリピンなどの東南アジアで過ごしたツバメが法勝寺中学校に戻ってきて子育ての真っ最中。口にくわえて運んできた土と唾液を混ぜて立派な巣を作り、その中で子育てが着実に進んでおり、学校の周りとはとても賑やかです。

そんな状況を面白く思っていないのが、スズメたちです。実はスズメたちはツバメがいなくなった後の巣を借りて生活をしていました。その巣が急に4月に帰ってきたツバメたちに占領されたものだからたまったものではありません。一生懸命草を集めてきて、つばめの巣の中に敷いて住みやすく改造した新居が奪われてしまうのですから。

ツバメたちも自分たちの巣を乗っ取られてはかなわないと懸命にスズメを追いかけています。学校の色々な場所でそうした争いの後に破壊された巣が落ちてしまっています。

どちらも生き残りをかけて必死に暮らしている姿を見て、ふと考えさせられたある日の出来事でした。

